



読書で身に付く力とは？

教務主幹 市川 遼馬

校庭の木々も葉を落とし、秋の終わりが近付いていることを感じる時期です。秋と言えば「読書の秋」。11月は読書月間でした。みなさんは11月に何冊くらい本を読みましたか。

「秋は夕暮れ。夕日の差して山の端いと近うなりたるに、…」この文章は、みなさんご存じ、『枕草子』（清少納言）の一説です。秋は山の端に夕日が近くなっているところにカラスが3羽4羽飛んでいくようすに趣を感じるということです。そんな場面を想像できますか。

さて、みなさんは読書で身に付く力とは何だと思えますか。私は「想像力」だと思えます。例えば子供たちが同じ文章を読んでいても、音読すると、会話文では話すスピードや声の高さがそれぞれ違います。自分の中で「この人物はこんな話し方をしている」と想像しながら読むからです。似たようなところで、マンガがアニメ化されたときの声のしっくり感や違和感は、誰もが感じたことがあるのではないのでしょうか。

現代は、分かりやすさを求めすぎている風潮があるのではないのでしょうか。すぐに動画に頼ったり、視覚的に分かりやすくしようとしたりしています。動画は想像力を補ってくれます。「百聞は一見にしかず」という言葉がありますが、今は百聞を飛ばし、さっさと、一見にたどり着いてしまうために、本来、百聞している間に身に付いたであろう想像力が身に付きにくくなっているように感じます。想像力を働かせることは、時間がかかり、面倒で、力のいることです。

ある番組で、学生がジブリの宮崎駿さんに質問しました。「私はアニメをたくさん見えています。先生の作品は全部見えています。どうしたら先生のような作品が作れるようになりますか？」宮崎駿さんは「お答えします。明日からアニメを見ないことです。本を読みなさい。」と答えました。想像力の源泉は読書にあるということです。

また、別の切り口からも、想像力がないと、相手の痛みすら想像できないので、やりすぎてしまったり、ブレーキが掛けられなかったりします。お天道様が見ているということも想像できないので、誰も見てないからやってもいいや、となります。想像力があれば、自分を律し、相手の立場になって考え、理解しようとしたり、優しくしたりできると思います。

動画で手っ取り早く、ではなく、じっくり読書をする時間を大切にしてほしいです。

今月の行事予定（12月）

1	金		16	土		
2	土		17	日		
3	日		18	月	クラブ活動	
4	月	委員会活動	19	火	なかよし班活動	
5	火	読書 保護者会1・2年生	20	水	音楽集会	
6	水	保健委員会集会 4時間授業	21	木	持久走月間終	
7	木	安全指導 保護者会3・4年生	22	金	大掃除 給食終	
8	金	保護者会5・6年生	23	土		
9	土		24	日		
10	日		25	月	終業式	
11	月	避難訓練	26	火	冬季休業日始	
12	火		27	水		
13	水	飼育委員会集会	28	木		
14	木	理科見学4年 ビュータイム	29	金	1月9日(火) 3学期始業式 給食なし4時間	
15	金		30	土		
			31	日		

やとにっ子展



1年生は、初めての展覧会に目を輝かせて鑑賞をしていました。また、3時間目には谷戸幼稚園のお友達を迎えて、自分の作品を紹介したり、一緒に体育館を回ったりして交流の時間を楽しみました。

初めての展覧会で想像以上にたくさんの作品が体育館に集まっています、驚きを隠せない2年生。「他の学年も頑張っていたんだ!」と、作品鑑賞を楽しみました。1年生の作品には、「1年生も、すごいね!」とお兄さんお姉さんの表情になっていました。



3年生は鑑賞中に、他の学年の作品を見ながら「どうやって作ったんだろう。」「こんなに細かいところまですごいなあ。」と、感心しながら鑑賞していました。自分の作品を友達に見てもらおうと、嬉しそうにしていました。学習で学んだことを生かした展覧会でした。



4年生は、友達の作品や上級生の作品を見て、尊敬したり、憧れをもったりして、楽しく鑑賞しました。タブレットで鑑賞カードを作成し、2年ぶりのやとにっ子展を味わいました。



5年生は、自分たちや他学年の作品のよさを、友達同士で話し合いながら、鑑賞しました。高学年として準備から片付けまで行い、学校の仕事に責任をもって取り組みました。



6年生は、小学校生活最後の展覧会。最後の展覧会は、会場の準備から始まり、展覧会を作り上げていきました。展覧会当日の鑑賞の際には、一目散に1年生の作品の場所に行く子が多かったです。「あ、〇〇ちゃんの作品きれいだな」など、他の学年の子の良さをたくさん発見している様子でした。最高学年としての姿を見ることのできる展覧会でした。



～展覧会を終えて～

今年の展覧会はテーマが「つくって・ながめて・すてきな作品」でした。児童鑑賞の時間も多めに設定し、ゆっくり自分やお友達の作品を見ました。心をこめてつくり、作品を鑑賞することで、児童の情操を高める良い機会となれば幸いです。(展覧会委員長 平野亜希子)

◆学校評価について

アンケートの回答をお願いいたします。児童のタブレットからクラスルームに入ってください、Google フォームにてご回答ください。期間は11月30日から12月6日です。ご協力よろしく申し上げます。